

科(科目)	地理歴史(地理総合)	単位数	2 単位	学年（系）：1 学年必修
使用教科書	帝国書院『高等学校新地理総合』			
使用地図帳	帝国書院『新詳高等地図』			
副教材等	東京法令出版 新編地理資料 2026 高等学校新地理総合ノート			

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	①広い知識と科学的思考に裏付けられ、事に臨んで適切な判断ができる人間に育てる。 ②強靱な体力と不屈の忍耐力を持ち、信念を持って行動するたくましい人間に育てる。 ③相手の立場に立って物事を考え、人の心を汲み取って思いやる温かい人間に育てる。
カリキュラム・ポリシー	①1・2 学年では全員が共通の科目を学び、広く基礎的な知識・技能を身につけます。 ②3 学年では選択科目を多く設置し、個々の興味・関心を進路目標に合わせ科目を選択し学びます。 ③授業第一主義とし、主体的・対話的で深い学びの授業、I C T を積極的に活用しわかりやすい授業を実践します。 ④長岡市との「探究学習の推進に関する連携協定」のもと、地域の大学、企業、行政と連携し、地域資源を活用した生徒主体の探究活動を実践します。 ⑤学校行事や部活動では、安全安心な環境を整備し、生徒の主体的な活動を支援します。

2 学習目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題追究や解決の活動を通じ、国際社会に主体的に生きる資質・能力を育成する。 ①地理に関わる諸事象に関し、世界の多様性等を理解すると共に、地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。 ②地理的課題の解決に向けての構想力をはじめ考察、説明したり、議論したりする力を養う。 ③地理的事象の学びを通して、よりよい社会の実現を視野に諸課題を解決しようとする態度を養い、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重する態度と自覚を深める。
--

3 指導の重点

①基礎的・基本的な知識の理解と定着を目指すとともに、読図力、統計やグラフの作成と活用力に加え、それらの表現や発表の力を身につけさせる。 ②デジタル教科書をはじめとした I C T 教材を利用し、地理的事象について興味・関心を深め、課題に対する考察力や表現力を身につけさせる。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関係を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したり、それらを基に議論したりしている。	地理に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者としてよりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追求、解決しようとしている。

5 評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・定期考査 ・ワークシート ・教科書作業や課題 ・ノート点検 などから、評価します。 (40%)	以上の観点を踏まえ、 ・定期考査 ・ノート点検 ・ワークシートの内容確認 などから、評価します。 (40%)	以上の観点を踏まえ、 ・論述課題 ・ワークシートの内容確認 ・振り返りシートの記述の分析 などから、評価します。 (20%)
	内容のまとまりごとに、各観点 「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」 で評価します。 内容のまとまりごとの評価規準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	時間	教材名	学習活動	評価の 観点	評価方法
4	地球上の位置と時差	4 A 地図と地理情報システム	地球上の位置と私たちの生活	読図作業を基に地図や地理情報システムの役割や活用方法について理解する。 作業を通して用途・内容・適切な活用方法を考察し、表現する。その上で主体的課題追究の態度を養う。	b	ノート点検
	地図の役割と種類		時差と私たちの生活		a	ワークシート
			地球儀と地図		b	ノート点検
			身の回りの地図 統計地図の種類と利用 地理情報システムの利用		a	教科書作業
	現代世界の国家と領域	4 A 結びつきを深める現代世界	現代世界の国家 日本の位置や領域	現代世界の地域構成を示す様々な地図の読図を基に、日本の位置と領域、国内や国家間の結びつきについて理解	c	ワークシート (考察)
					b	ノート点検
5	グローバル化する世界		国家間の結びつき 貿易によって結びつ		c	ワークシート (考察)

		く世界 様々な交通網の発達 世界を結ぶ通信網の 発達 観光のグローバル化	する。 国家や国家間の結 びつきを多面的・多 角的にとらえ、考察 し表現する。	b a	ハート点検 教科書課 題
	中間テスト	1		ab	定期考査
	生活文化の多様性	1 0	生活文化を考察する 方法	a b	小テスト ハート点検
	世界の地形と人々の 生活	B 生活文化 の多様性と 国際理解	大地形と人々の生活 変動帯と人々の生活 安定地域と人々の生 活河川が作る地形と 人々の生活 海岸の地形と人々の 生活 氷河地形・乾燥地形 ・カルスト地形と人 々の生活	b a	ワークシート 教科書課 題（読図）
6	世界の気候と人々の 生活		気温・降水と人々の 生活 大気大循環と人々の 生活 世界の植生と気候区 分 熱帯の生活 乾燥帯の生活 温帯の生活 亜寒帯・寒帯の生活	a b a c	小テスト ハート点検 ワークシート 教科書課 題（グラフ） 教科書課 題（写真）
7	追究事例 自然① オセアニア		人々を引きつける多 様な自然環境 自然環境を活かした 産業と人々の生活	a b c	ハート点検 ワークシート 論述課題
	注：担当選択				
	追究事例 自然② 東南アジア		モンスーンの影響を 受けてきた人々の生 活 気候を生かした農業 と人々の生活		
	注：担当選択				
	世界の言語・宗教と人 々の生活		世界の言語と人々の 生活文化 世界の宗教と人々の 生活文化	a b	ハート点検 ワークシート
	追究事例 宗教① 中央アジア・西アジア ・北アフリカ		イスラームを中心と した生活文化 乾燥地域で暮らすム スリムの生活 変化するムスリムの 生活	a b c	ハート点検 ワークシート 論述課題
	注：担当選択				

	追究事例 宗教② インド 注：担当選択		インドの歩みとヒンドゥー教 宗教や自然環境の影響を受けるインドの食生活 変化するヒンドゥー教徒の生活		
7	期末テスト	1		ab	定期考査

8	歴史的背景と人々の生活	10 B 生活文化の多様性と国際理解（続き）	歴史的背景が人々の生活に与える影響	a	ハート点検
9	追究事例 歴史① ラテンアメリカ 注：担当選択 追究事例 歴史② サハラ以南アフリカ 注：担当選択 追究事例 歴史③ ロシア 注：担当選択 世界の産業と人々の生活		ヨーロッパ社会の影響が強い文化 大土地所有制が生み出した社会構造 外国資本による工業化と生活の変化 生活文化に残る旧宗主国の影響 植民地支配の影響が残るアフリカの産業 人々の生活の変化と経済成長への取り組み 国際体制の変化が人々の生活に与えた影響 変化するロシアの産業 人々の生活を支える農業の発展 人々の生活を支える工業の発展 グローバル化する現代の産業と人々の生活	b a b c a b	ワークシート ハート点検 ワークシート 論述課題 ハート点検 ワークシート
10	追究事例 産業① アメリカ合衆国 注：担当選択 追究事例 産業② 東アジア		世界に大きな影響力を持つ知識産業と資源 世界の食卓に影響を与える農業 産業の発展を支えてきた移民の力 東アジアの経済成長とその歩み 経済成長による中国の生活の変化	a b c	ハート点検 ワークシート 論述課題

	注：担当選択 ----- 追究事例 産業③ ヨーロッパ		経済成長による韓国 の生活の変化 ----- E U 統合と人々の生 活 E U 統合による農業 への影響 E U 統合による鉱業 や社会への影響			
	中間テスト	1			ab	定期考査
11	複雑に絡み合う地球 的課題	1 6 B 地球的課題と国際協 力	相互に関連する地球 的課題と園解決に向 けて	世界各地の地球環 境問題、資源・エネ ルギー問題、人口・ 食糧問題及び居住 ・都市問題などを基 に、地球的課題の各 地で共通する携行 性や課題相互の関 連性などについて 大観し理解する。ま た、それらの解決に は持続可能な社会 の実現を目指した 各国の取り組みや 国際協力が必要で あることを理解す る。 先の地球的諸課題 について地域の結 びつきや持続可能 社会作りなどに着 目し、主題を設定し て現状や要因、解決 の方向性などを多 面的・多角的に考察 し表現する。さら に、それらを追究・ 解決しようとする 態度を養う。	a b	ノート点検 教科書課題（写真）
	地球的環境問題		多様な地球環境問題 熱帯林の破壊への対 策 地球温暖化への対策		a b c	ノート点検 ワークシート 論述課題
	資源・エネルギー問題		世界前エネルギー・鉱 産資源 エネルギー利用の現 状と課題 地域で異なるエネ ルギー問題への取 組み		a b c	ノート点検 ワークシート 論述課題
	人口問題		世界の人口 発展途上国と先進 国の人口問題 地域で異なる人口 問題への取り組み		a b c	ノート点検 ワークシート 論述課題
12	食料問題		飢餓と飽食 地域で異なる食料問 題への取り組み		a b c	ノート点検 ワークシート 論述課題
	都市・居住問題		世界の都市の発展 発展途上国と先進 国の都市・居住問 題 地域で異なる都市・ 居住問題への取 組み		a b c	ノート点検 ワークシート 論述課題
	期末テスト	1			ab	定期考査

1	日本の自然環境 地震・津波と防災	8 C 自然環境と防災	日本の地形 日本の気候 地震・津波による災害 地震・津波の被災地の取り組み	国内外をはじめ地域で見られる自然災害を基に地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わり	a b a b c	ノート点検 ワークシート ノート点検 ワークシート 論述課題
---	---------------------	----------------	--	--	-----------------------	--

2 ・ 3	火山災害と防災		火山の恵みと災害 火山と共生する地域の取り組み	を理解する。 ハザードマップや 新旧図の比較など	a b c	ノート点検 ワークシート 論述課題
	気象災害と防災		さまざまな気象災害 気象災害への取り組み	地理情報の読み取り 技術など地理的 技能を身につける。	a b c	ノート点検 ワークシート 論述課題
	自然災害への備え		減災の取り組み 被災地への支援	地域性を踏まえた 防災について多面的・多角的に考察・ 表現し、課題を主体的に追究・解決しようとする態度を養う。	b c	ワークシート 論述課題 と振り返り
	生活圏の調査と地域の展望	7 C生活圏の調査と地域の展望	地理的な課題と地域調査 現地調査の準備 現地調査の実施 調査の分析と発表	生活圏の調査を基に地理的課題の解決に向けて探究する手法などを理解する。 地域の成り立ちや持続可能な地域作りに着目して、主題を設定し、求められることを他面吹き・多角的に考察、構想し、表現する。また、それらを主体的に追究・解決しようとする態度を養う。	c	地域課題の調査とまとめ 及び振り返り
	学年末テスト	1			ab	定期考査

計 64 時間(55 分授業)

7 課題・提出物等

- ・単元によって基礎的知識と技能の小テストがあります。
- ・テーマによって論述課題の後に振り返りシートを記入し提出してもらいます。これは長期休業中の課題として出されるものもあります。
- ・ワークシートは授業内容を補完する作業や課題で、主に授業中にしてもらい提出してもらいます。

8 担当者からの一言

地理総合は地理的諸事象を土台に現代社会の成り立ちや、現在や未来に向けての諸課題を考察する科目です。そのため、身の回りにある風景やその背後にあるものなど多角的・多面的に探究し、まとめ上げる能力が求められます。そのような知識・技能と考え方を身につけ、さらには表現する力を養ってもらいたいと願っています。まさに地域を科学する。風景を理解する地理となるように頑張りましょう。地理という科目の面白さを理解してもらいたいです。

(担当：関谷 明典)